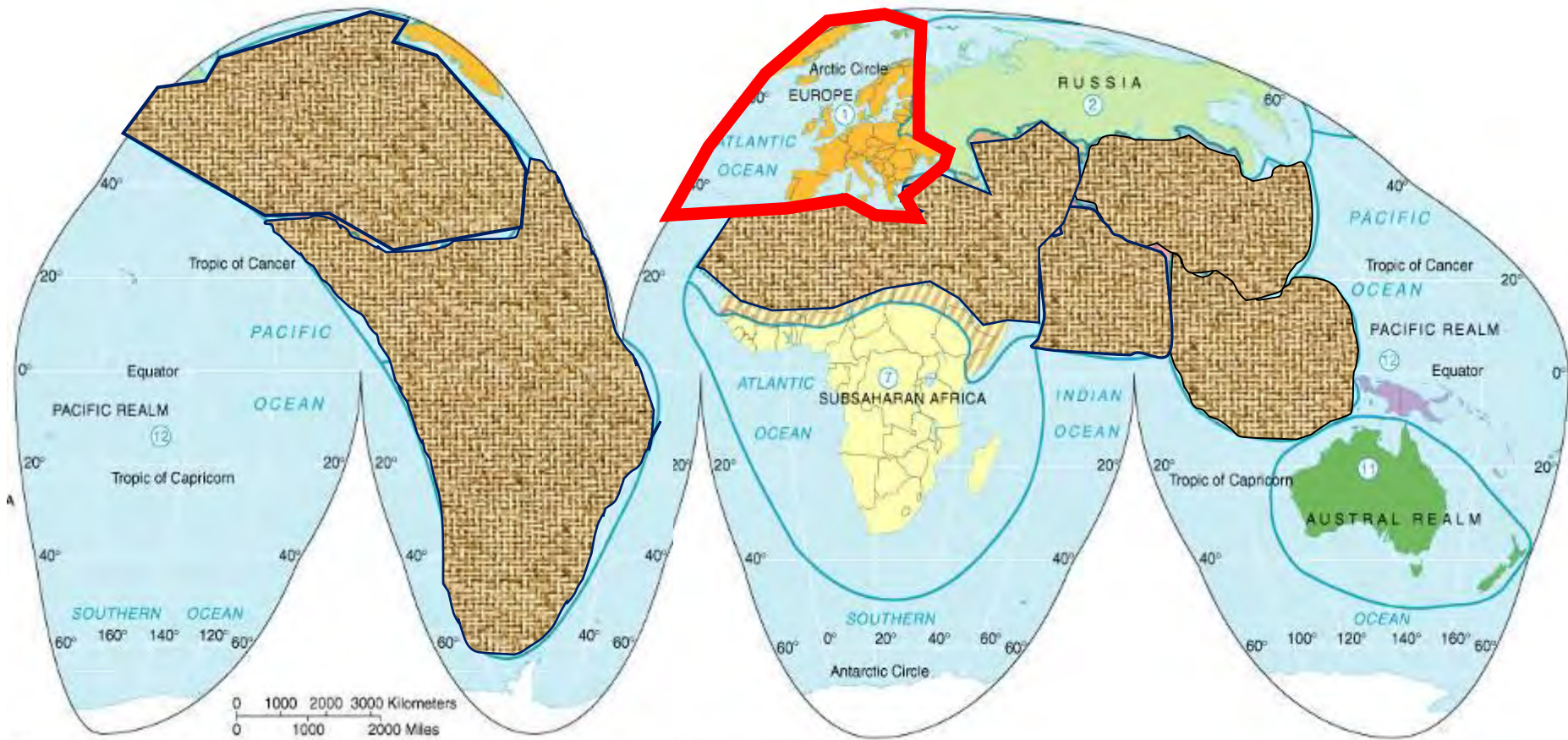
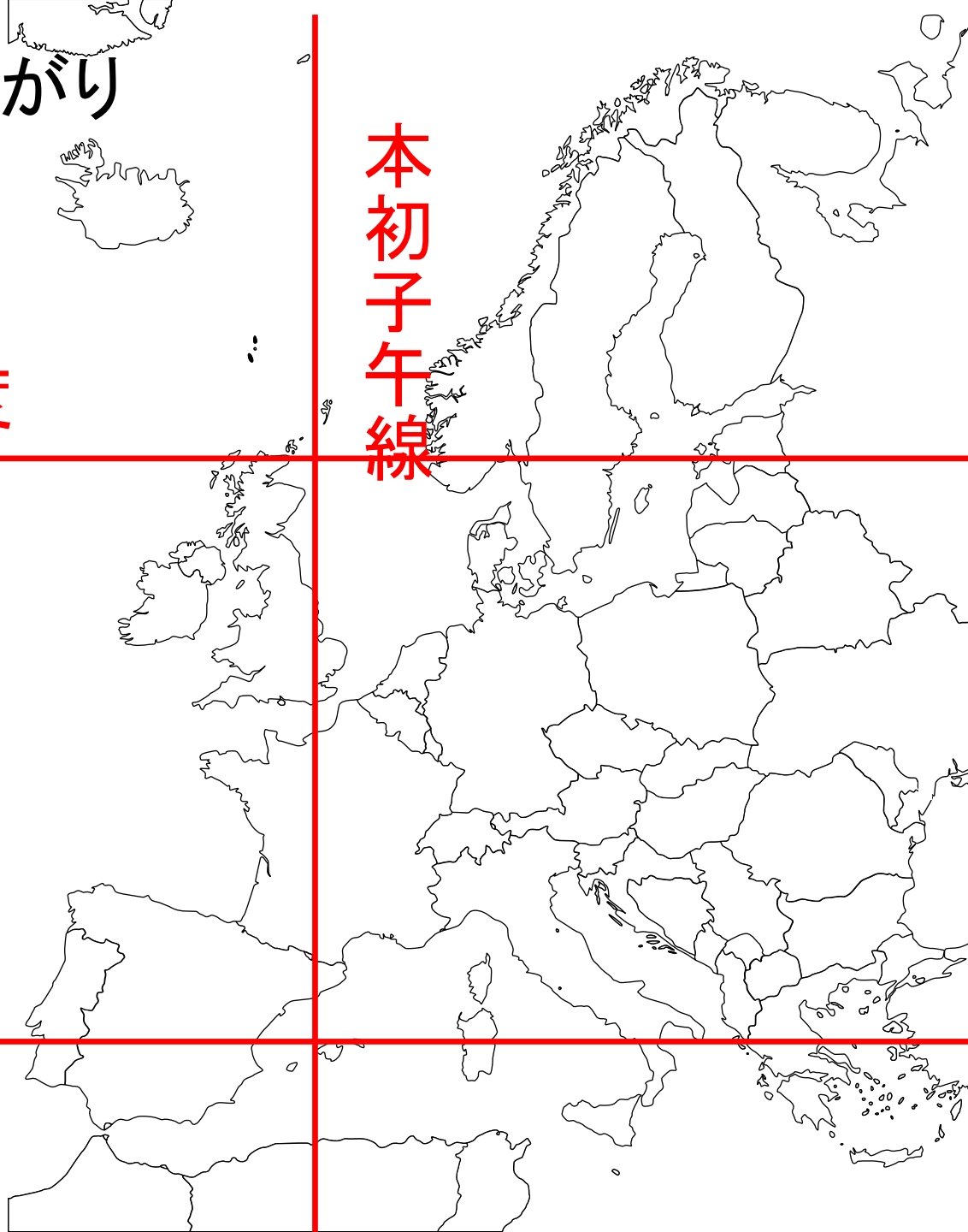


ヨーロッパ





# 1 地域の広がり



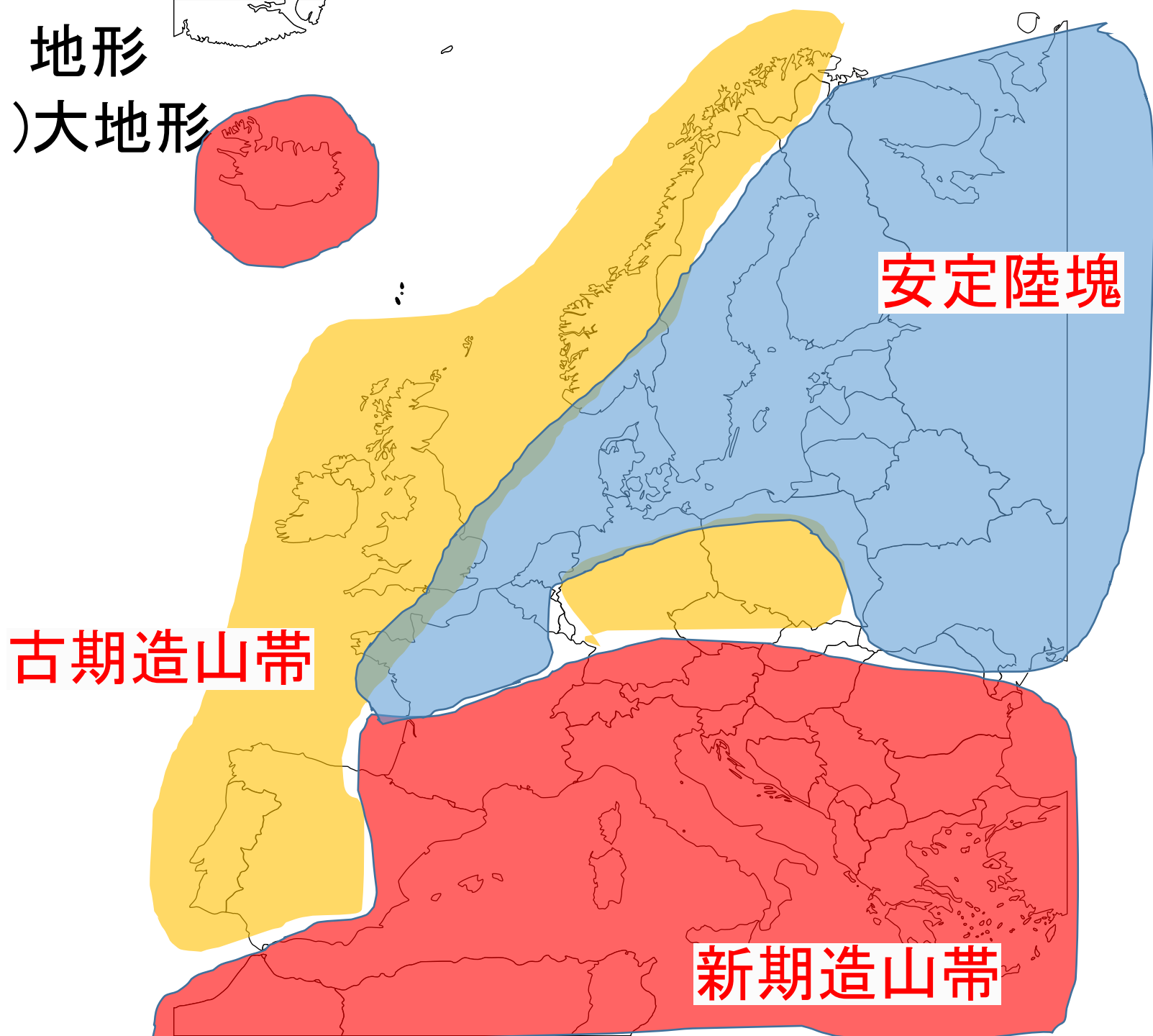
本初子午線

北緯60度

北緯40度

## 2 地形

### (1) 大地形



# ■安定陸塊

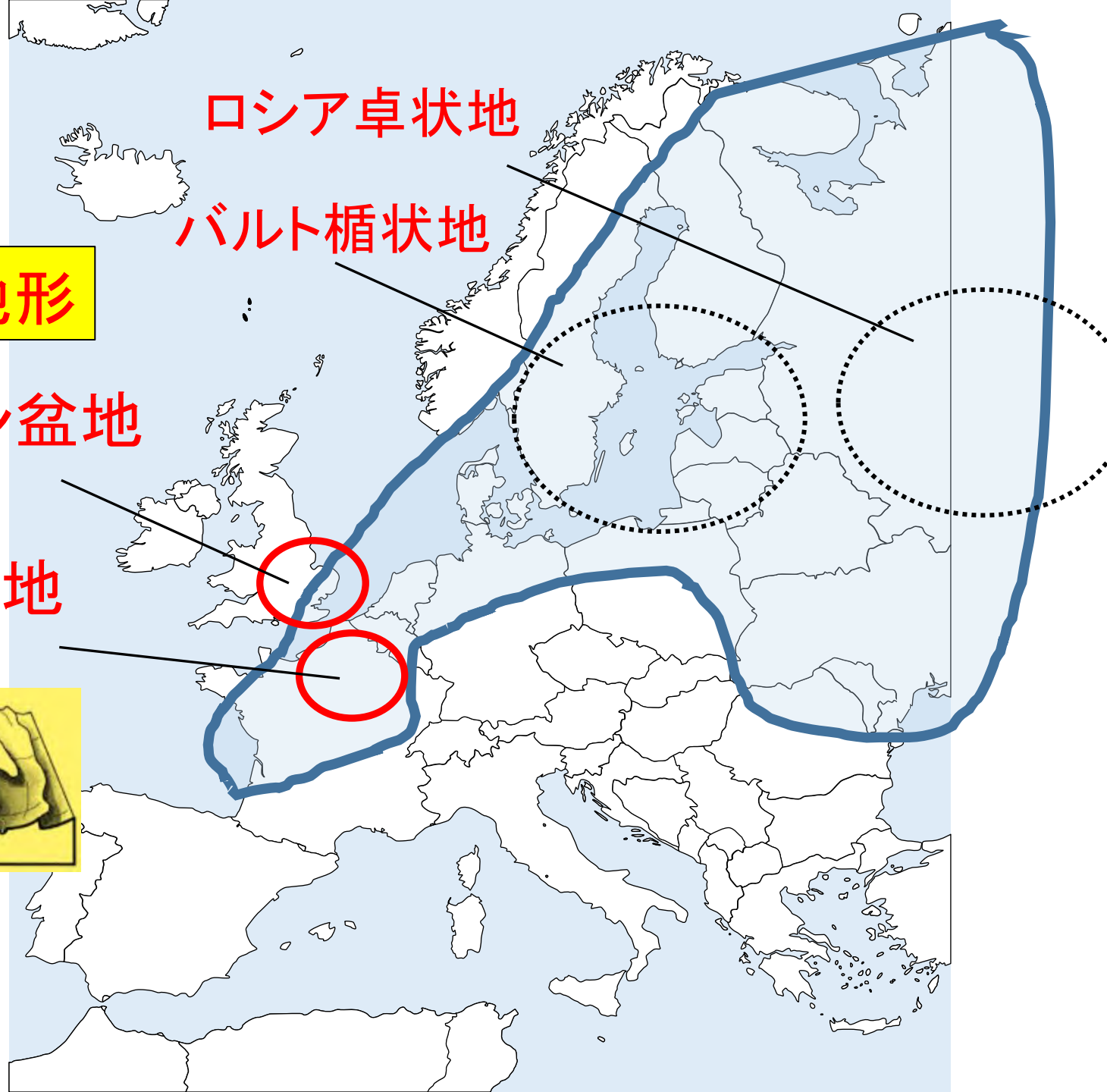
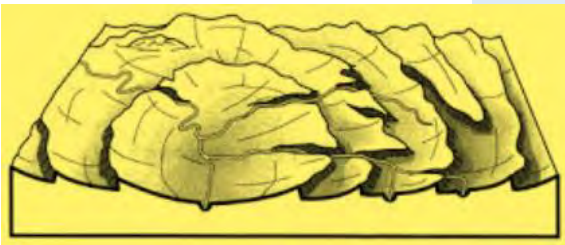
ロシア卓状地

バルト楕状地

ケスタ地形

ロンドン盆地

パリ盆地

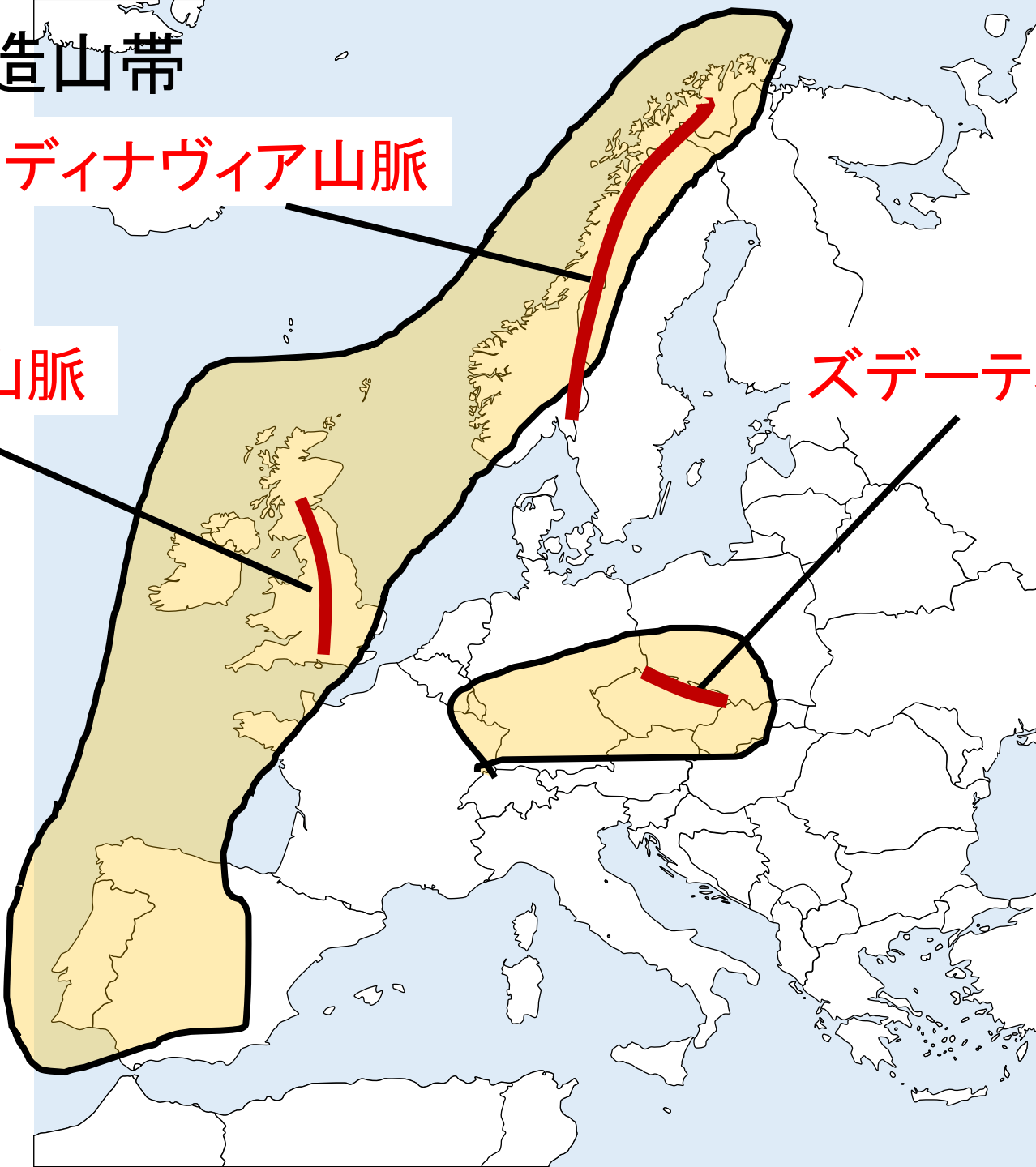


■ 古期造山帯

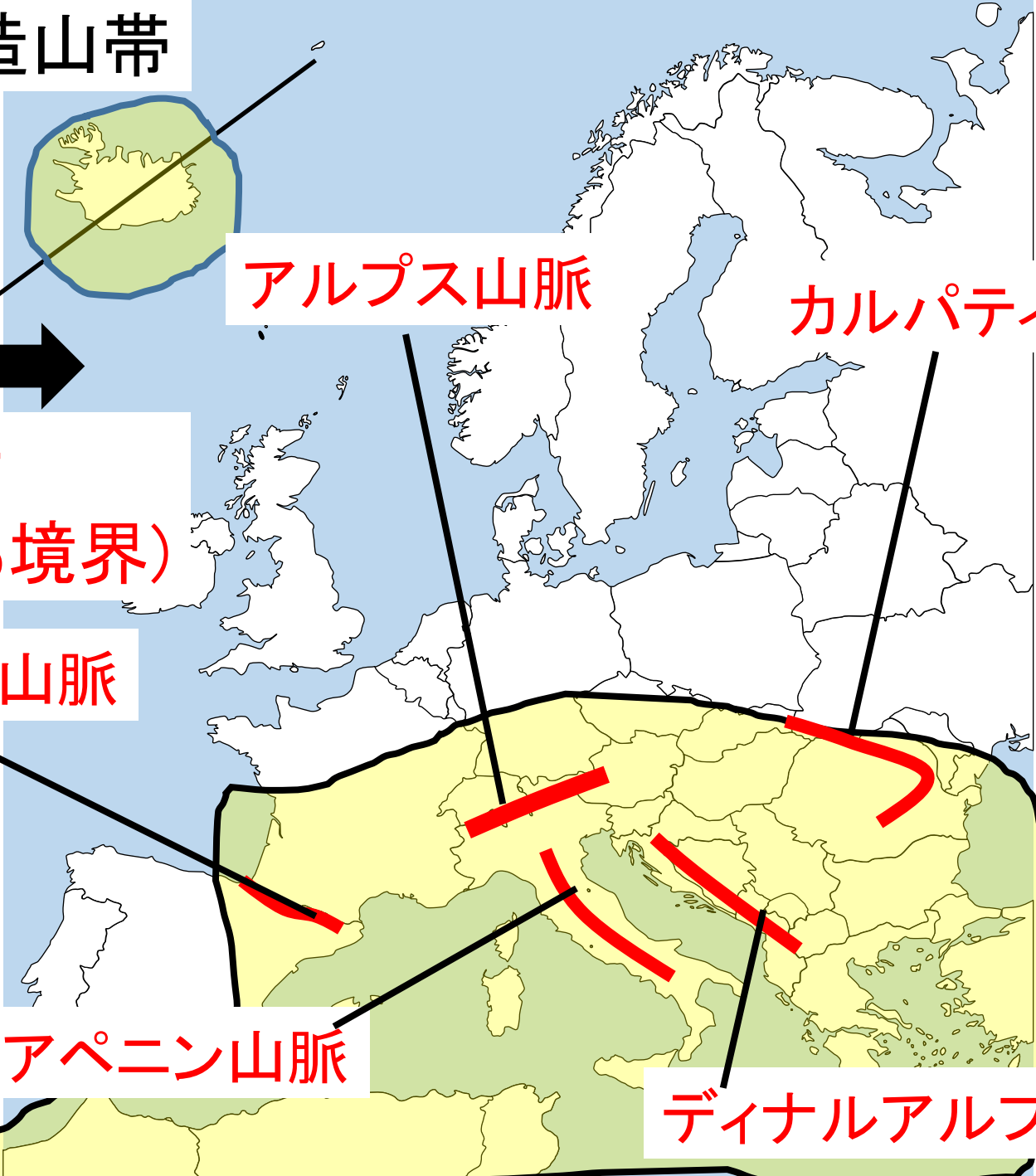
スカンディナヴィア山脈

ペニン山脈

ズデーティ山脈



# ■ 新期造山帯



アルプス山脈

カルパティア山脈

ギャオ

(ひろがる境界)

ピレネー山脈

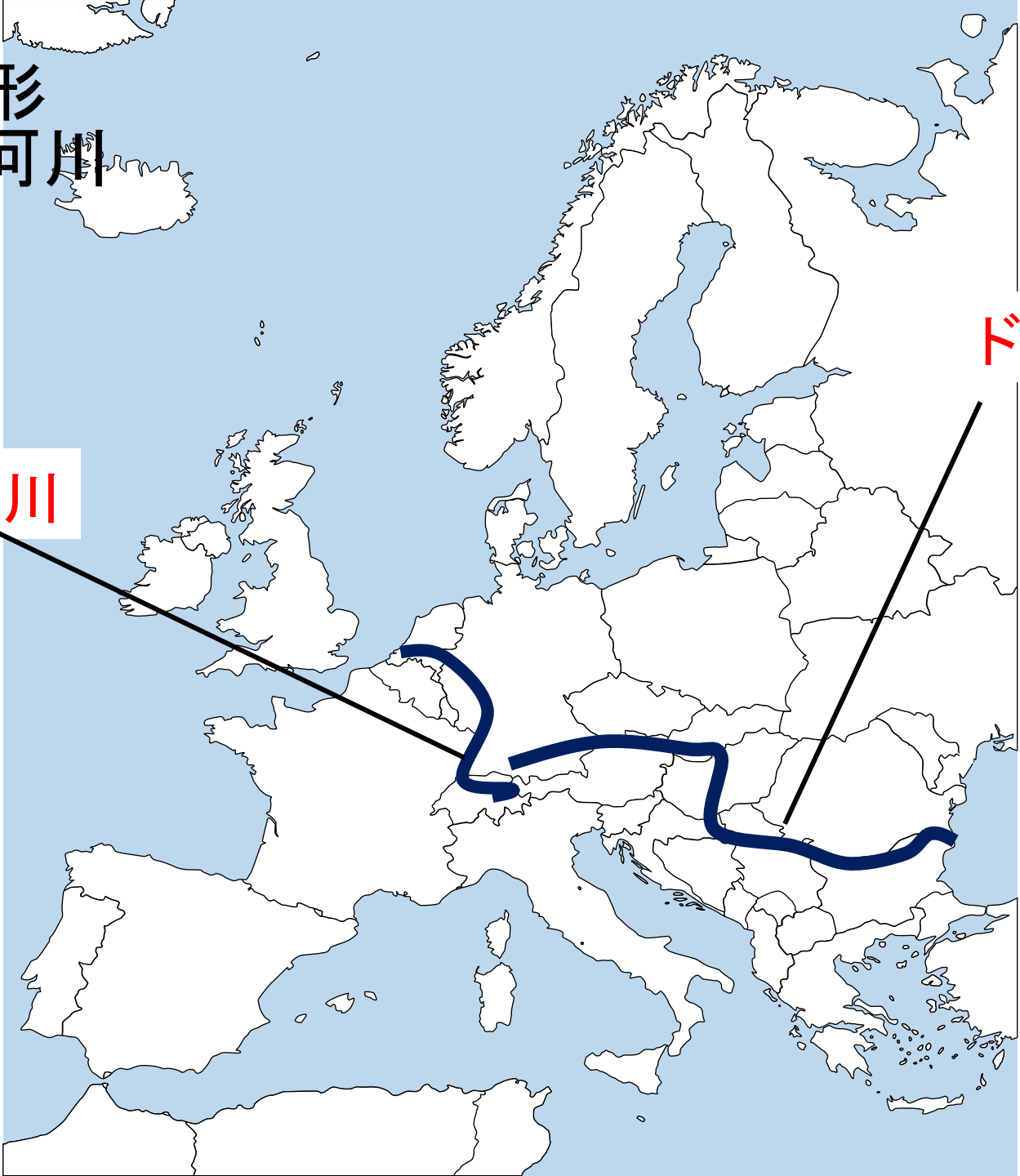
アペニン山脈

ディナルアルプス山脈

(2)小地形  
①二大河川

ドナウ川

ライン川





- ライン川(参考)

スイス→[フランス]・ドイツ国境→ドイツ

→オランダ

→[北 ]海)



# • ドナウ川(参考)

ドイツ→オーストリア

→スロバキア・[ **ハンガリー** ]国境 → ハンガリー

→クロアチア・[ **セルビア** ]国境

→ルーマニア・[ **セルビア** ]国境

→ルーマニア・[ **ブルガリア** ]国境→[ **黒海** ]



## ② エスチュアリー



### ③半島・海峡・海洋



④島

アイスランド島



グレートブリテン島



アイルランド島



シチリア島



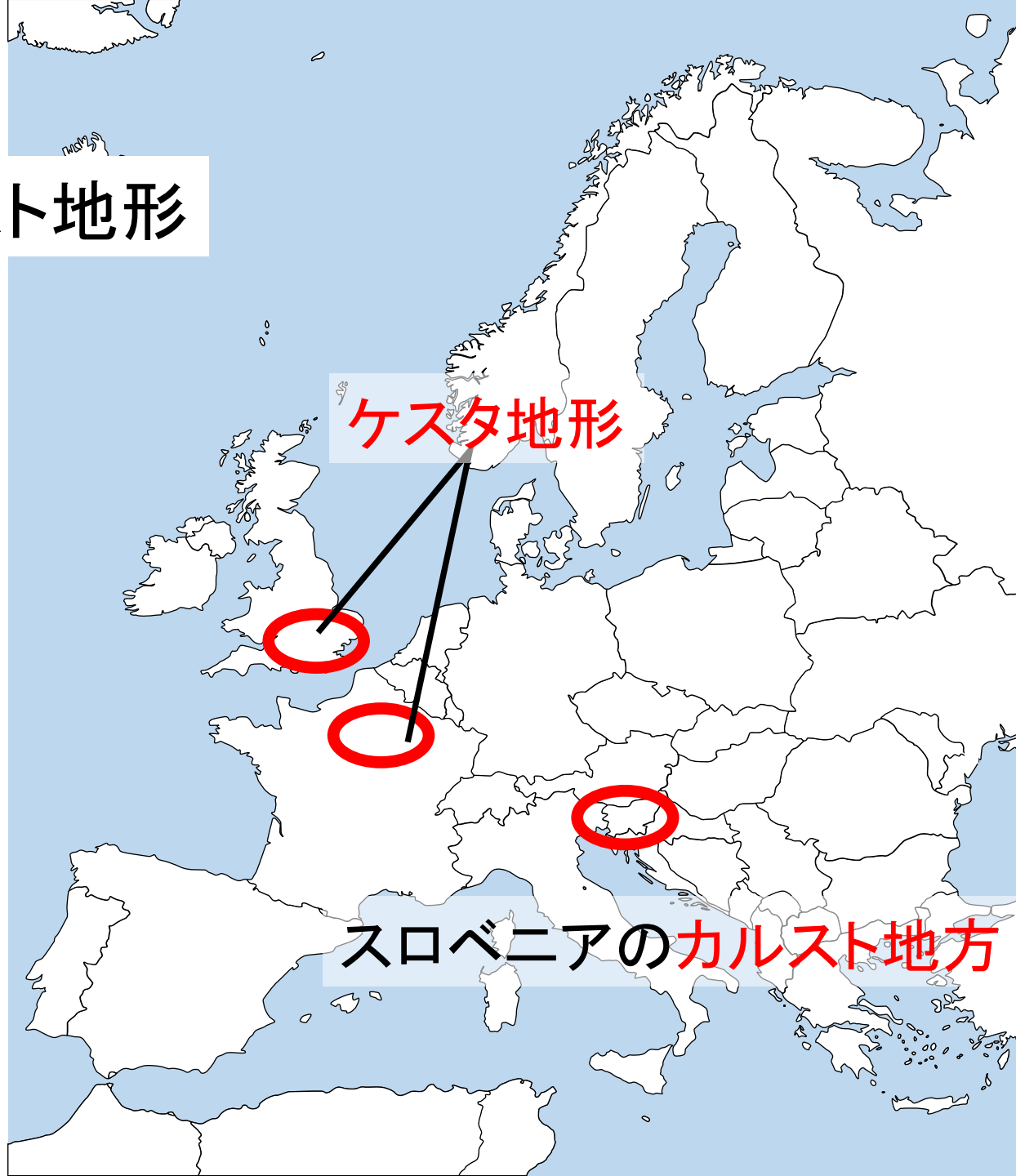
⑤フィヨルド



⑤リアス海岸



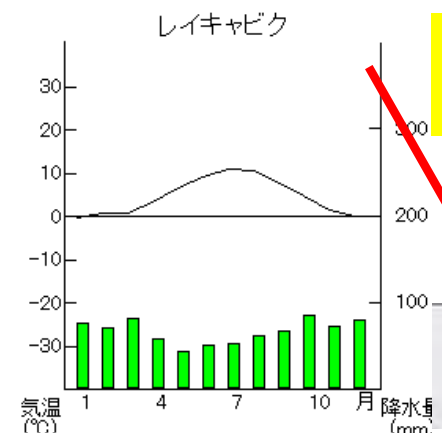
# ⑥カルスト地形



ケスタ地形

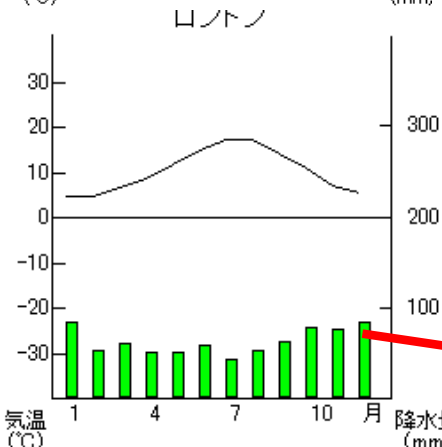
スロベニアのカルスト地方

# 3 気候



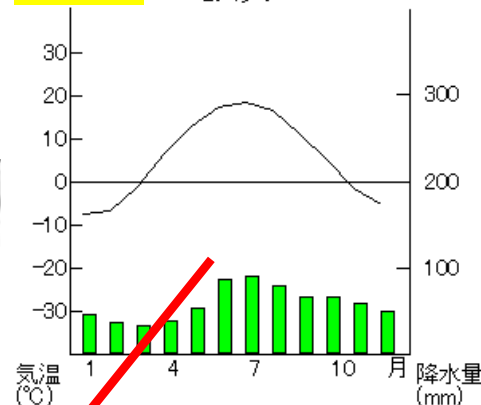
**Cfb**

**低温**

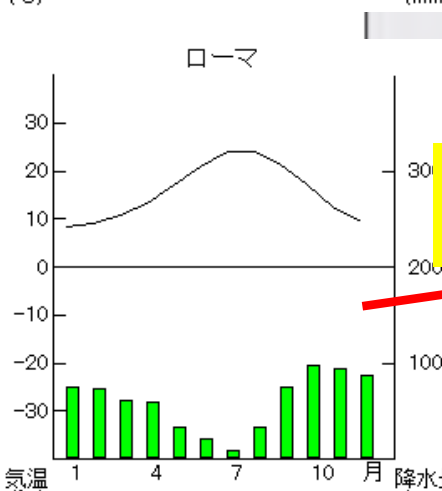


**Cfb**

**Df**

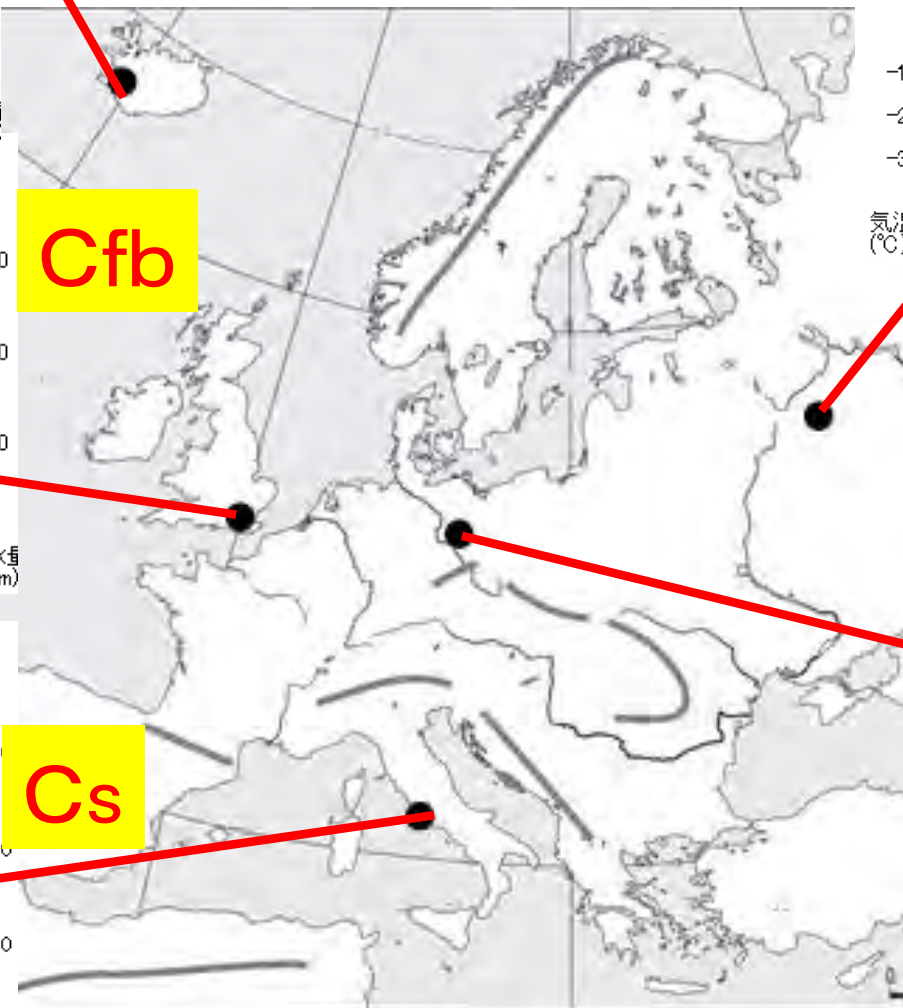
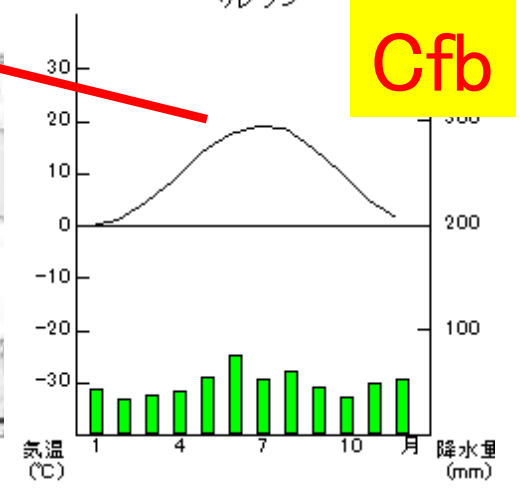


**年較差大**



**Cs**

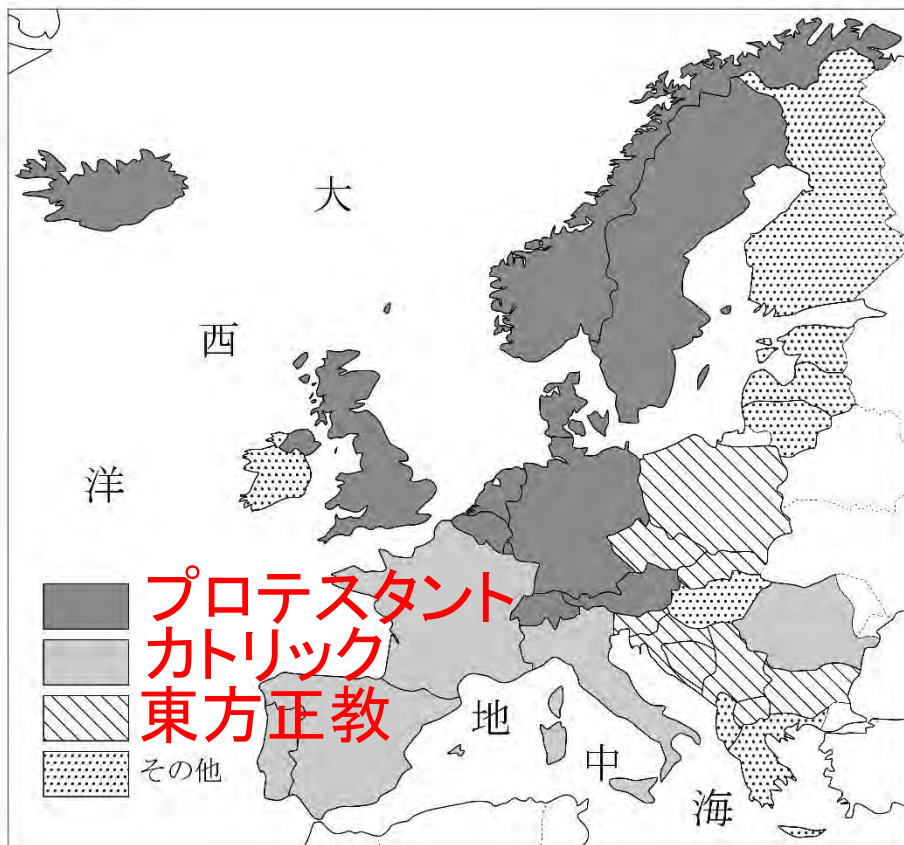
**Cfb**





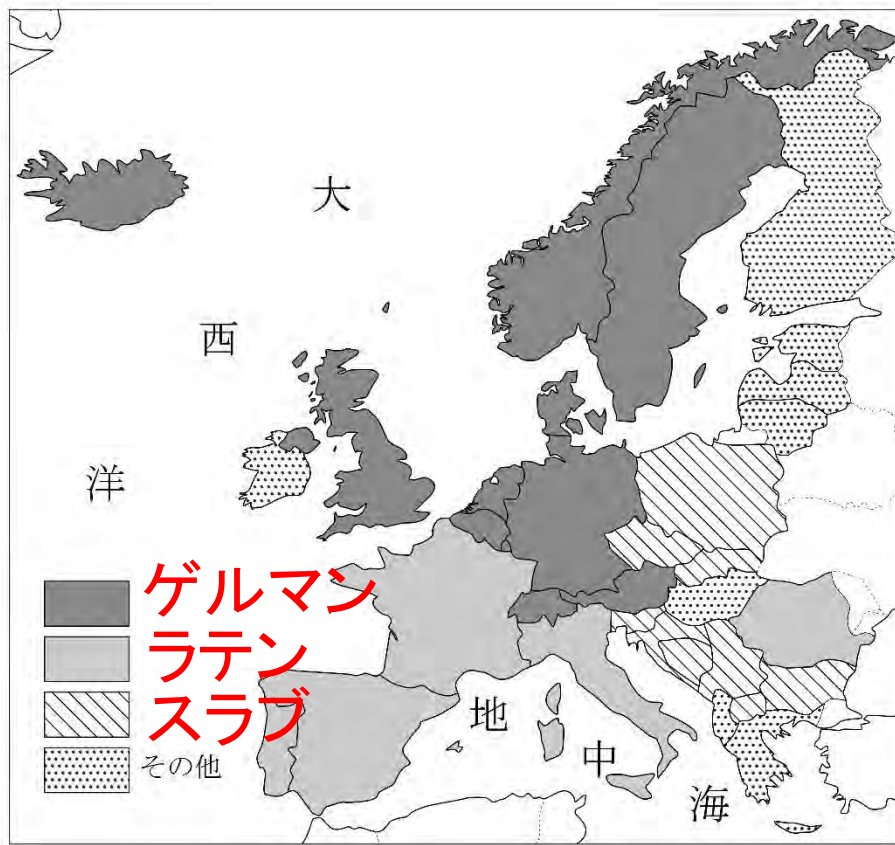
## 4 宗教と言語

### 宗教分布



※宗教・・・キリスト教が主流

### 言語分布



※言語・・・3言語が主流

## (1)基本的な分布パターン

### 宗 教                      言 語

- 北部…【プロテスタント】(【ゲルマン】系が多い)  
※主な国[ イギリス・ドイツ                      など]
  
- 南部…【カトリック】(【ラテン】系が多い)  
※主な国[ イタリア・スペイン・フランス                      など]
  
- 東部…【東方正教】(【スラブ】系が多い)  
※主な国[ ブルガリア・マケドニア                      など]

## (2)ヨーロッパで複数の公用語を持つ国

### ■ベルギー

- ・オランダ語（【 **フラマン** 】語）
- ・フランス語（【 **ワロン** 】語）
- ・ドイツ語

対立

フラマン人

ワロン人

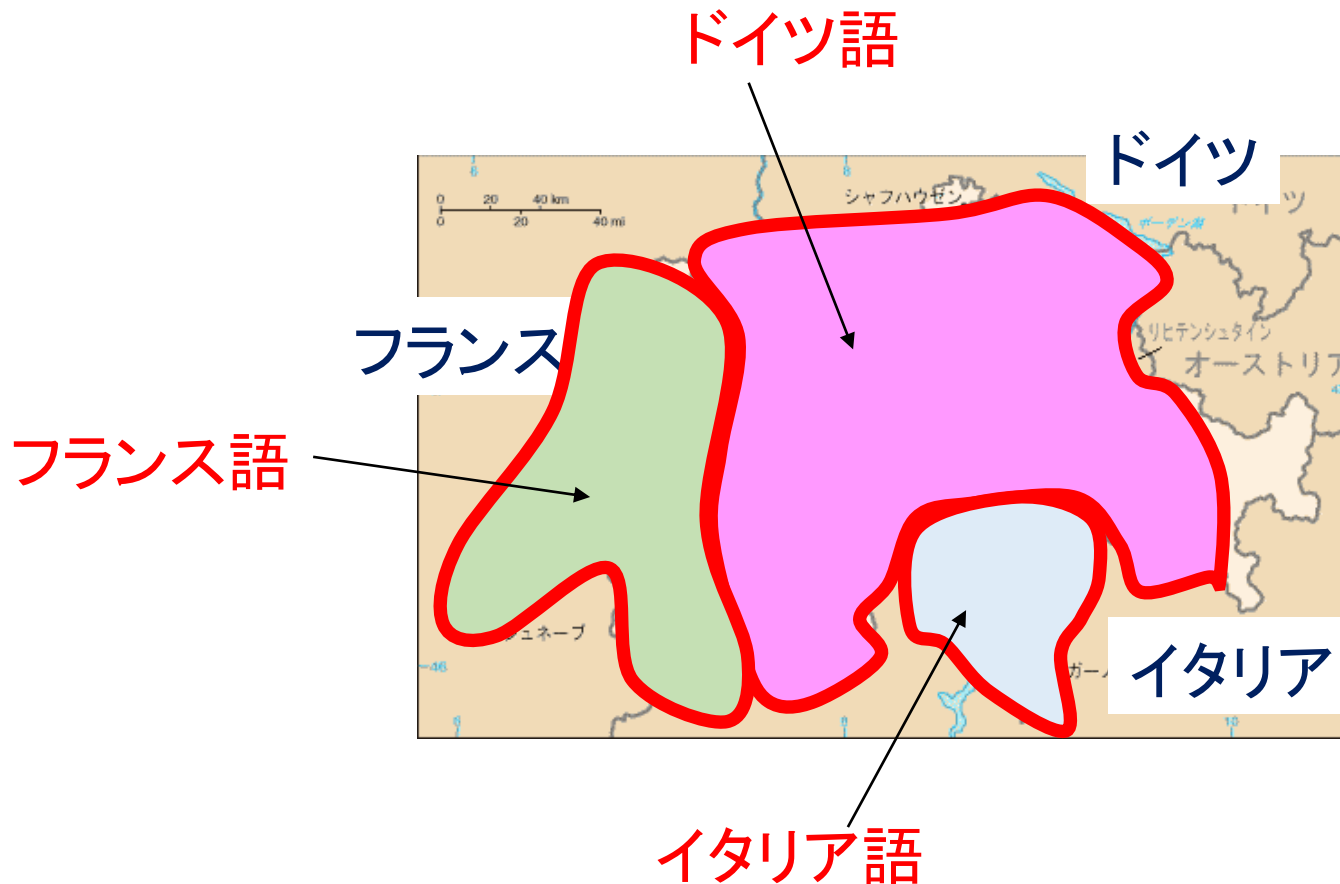


## ■スイス 公用語は4つ

【 **ドイツ** 】語 (65%、中心都市チューリヒ)

【 **フランス** 】語 (18%、中心都市ジュネーブ)

【 **イタリア** 】語とレートロマン(ロマンシュ)語



### (3) 公用語は一つだが、代表的な地方語を持つ国

#### ■ スペイン…スペイン語が公用語

【 **カタルーニャ** 】語

(ラテン系、カタロニア地方(中心都市バルセロナ))

【 **バスク** 】語(バスク語族)など



# 4 国境を越えて結びつくヨーロッパ

## (1) EU設立と拡大

1948年	ベネルクス関税同盟を結ぶ（3国で市場統合の先駆け）
1952年	ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（【 ECSC 】、2002年解散）
1958年	ヨーロッパ経済共同体（EEC） ヨーロッパ原子力共同体（【 EURATOM 】（ユーラトム））
<u>1967年</u>	<u>ヨーロッパ共同体（【 EC 】）</u> <b>原加盟国</b> 【 フランス 】 西【 ドイツ 】 【 イタリア 】 【 ベネルクス 】 3国（ベルギー・オランダ・ルクセンブルグ）
1973年	【 イギリス 】、【 アイルランド 】、【 デンマーク 】加盟
1981年	【 ギリシャ 】加盟
1986年	【 スペイン 】・【 ポルトガル 】加盟
1990年	※東西ドイツ統一により東ドイツも加わる
1991年	【 マーストリヒト 】条約採択
<u>1993年</u>	<u>欧州連合（【 EU 】）</u> ：12カ国で結成 ※経済・通貨統合を経て政治的統合を目指す。
1995年	【 フィンランド 】、【 スウェーデン 】、【 オーストリア 】加盟（北欧多い） ※ただし【 ノルウェー 】は国民投票により加盟を否決（産油国，漁業国としての権益）
<u>1997年</u>	<u>アムステルダム</u> 条約採択→統合の促進・加盟国の拡大
2004年	ポーランド，チェコ，スロバキア，ハンガリー，スロベニア，キプロス，マルタ バルト三国の加盟（東ヨーロッパの国々が多い）
2007年	【 ルーマニア 】・【 ブルガリア 】加盟
2013年	クロアチア加盟

2020年1月イギリスのEU離脱(ブレグジット)

原加盟国

1973加盟

1981加盟

1986加盟

1995加盟

2004加盟

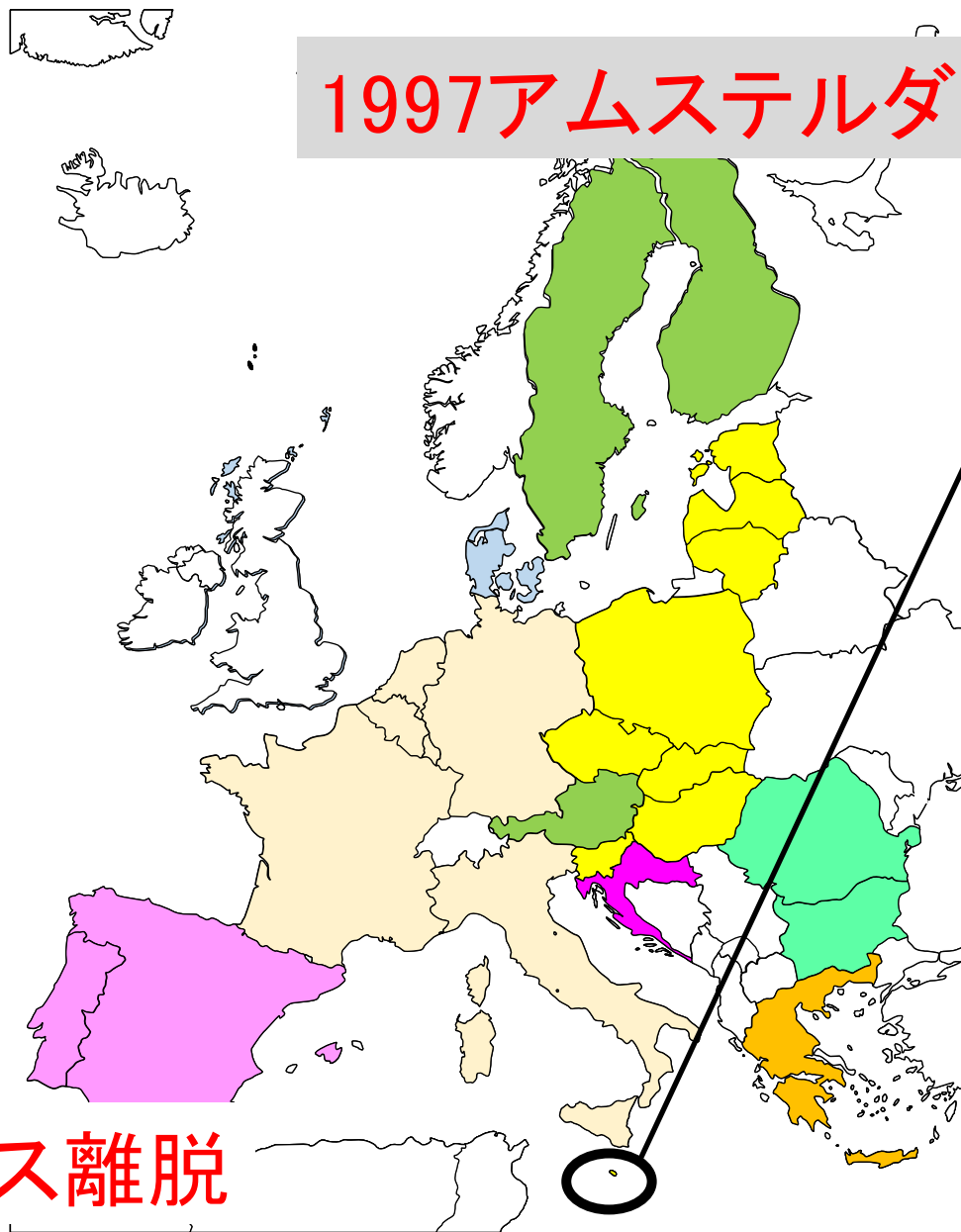
2007加盟

2013加盟

2020イギリス離脱

1993EU結成

1997アムステルダム条約



マルタ

キプロス

## (2) EUの主要機関



本部

ブリュッセル

司法裁判所

ルクセンブルグ

ストラスブール

議会





### (3) 国境を越える人や物の移動

① 単一通貨の採用……2002年、ユーロ 流通開始

■ 1999年 金融機関での決済はじまる(11カ国)

■ 主な不参加国【 デンマーク ( イギリス ) 】

※国民の同意得られず

■ 欧州中央銀行は【 フランクフルト 】(独の金融の中心)



## ②自由な移動…………… シェンゲン 協定による人の移動の自由化

■かつては域外からの外国人労働者の移動が目立った

例) イギリス←アイルランドや【 **インド** 】など(旧英領)



フランス←西アフリカ(【アルジェリア】・【モロッコ】などの旧仏領)  
やポルトガル・スペイン

ドイツ←【トルコ】

※ドイツの外国人労働者のことをガストアルバイターという

ドイツ隣国の低賃金労働者供給国の中で、トルコ人は教育レベル、語学力が比較的高い。

■近年は、新しいEU加盟国である【東】欧諸国からの移動が顕著

### ③域内貿易の活発化……域内関税 廃止

■農産物…【**地中海**】沿岸地域から北ヨーロッパへ

■工業製品…**ドイツ**などの先進工業国から域内各国へ

現在、EU最大の工業国である【**ドイツ**】は、貿易総額でアメリカ・中国に次いで世界第3位。輸出額は中国に次いで世界第2位。

## ④移動をたすける交通機関の整備

### ■航空交通

【 **ハブ** 】空港の整備

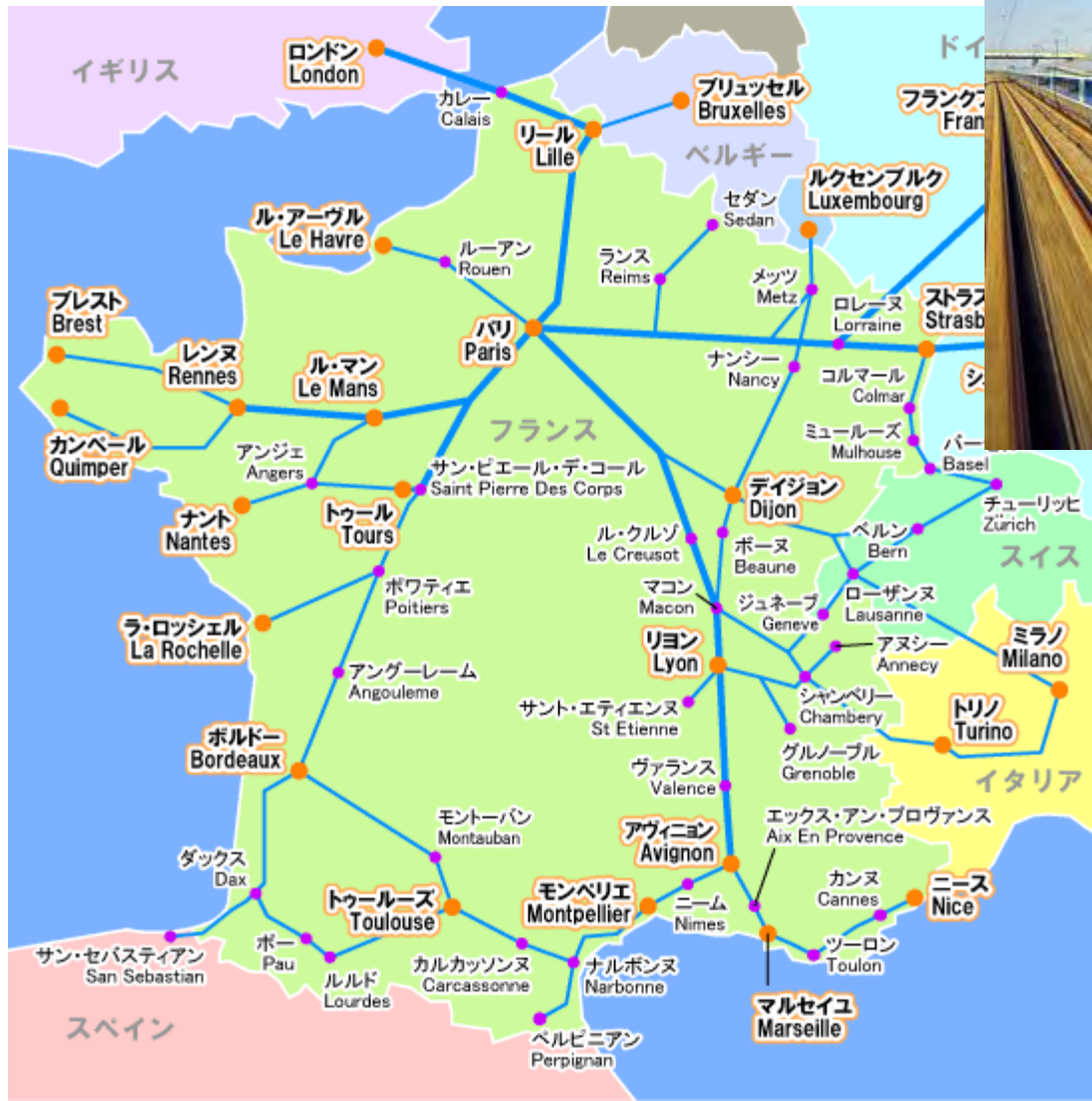
国際線利用者数では世界一の空港

- … 【 **ヒースロー国際** 】空港(イギリス)
- スキポール空港(アムステルダム(オランダ))
- 【 **フランクフルト国際** 】空港(ドイツ)



# ■ 高速鉄道 → 高速鉄道網の発達

・フランス→TGV



・ドイツ→ICE



# ・国際列車の **ユーロスター**



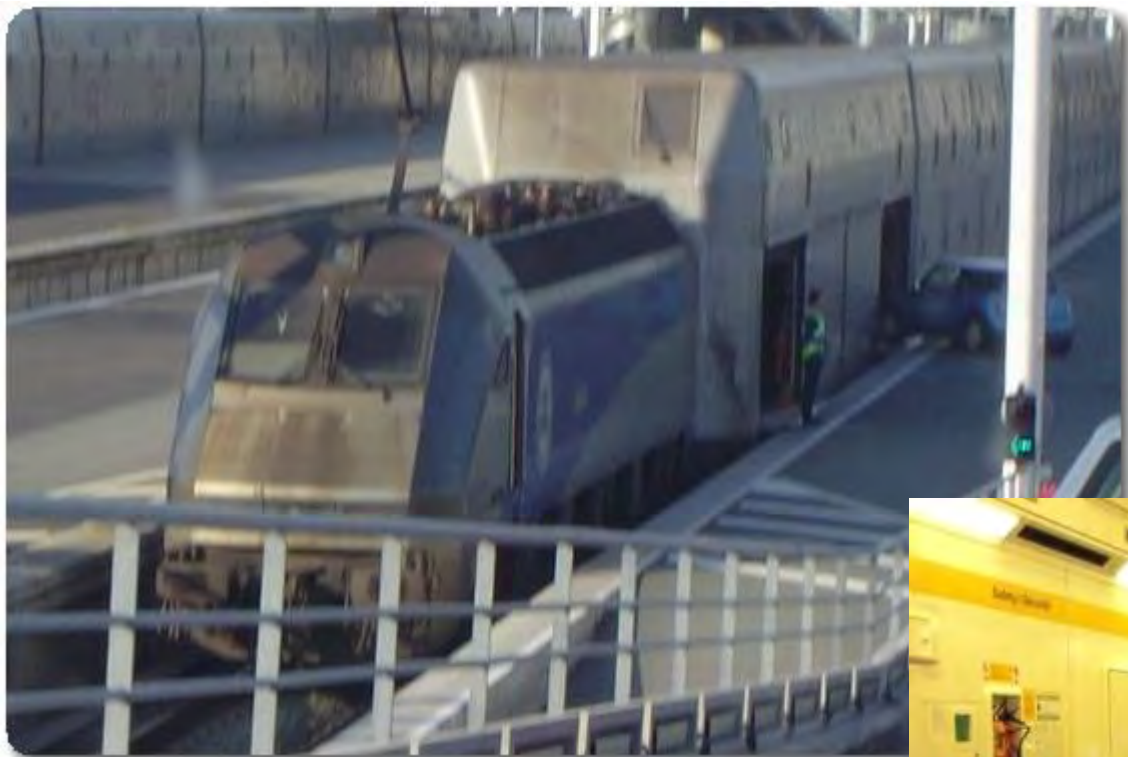


→インフラ整備

## ユーロトンネル の開通



・ユーロトンネルを使う自動車輸送専門列車の  
【ユーロトンネル・シャトル】



#### (4)EU加盟国の人口と面積(2019年)

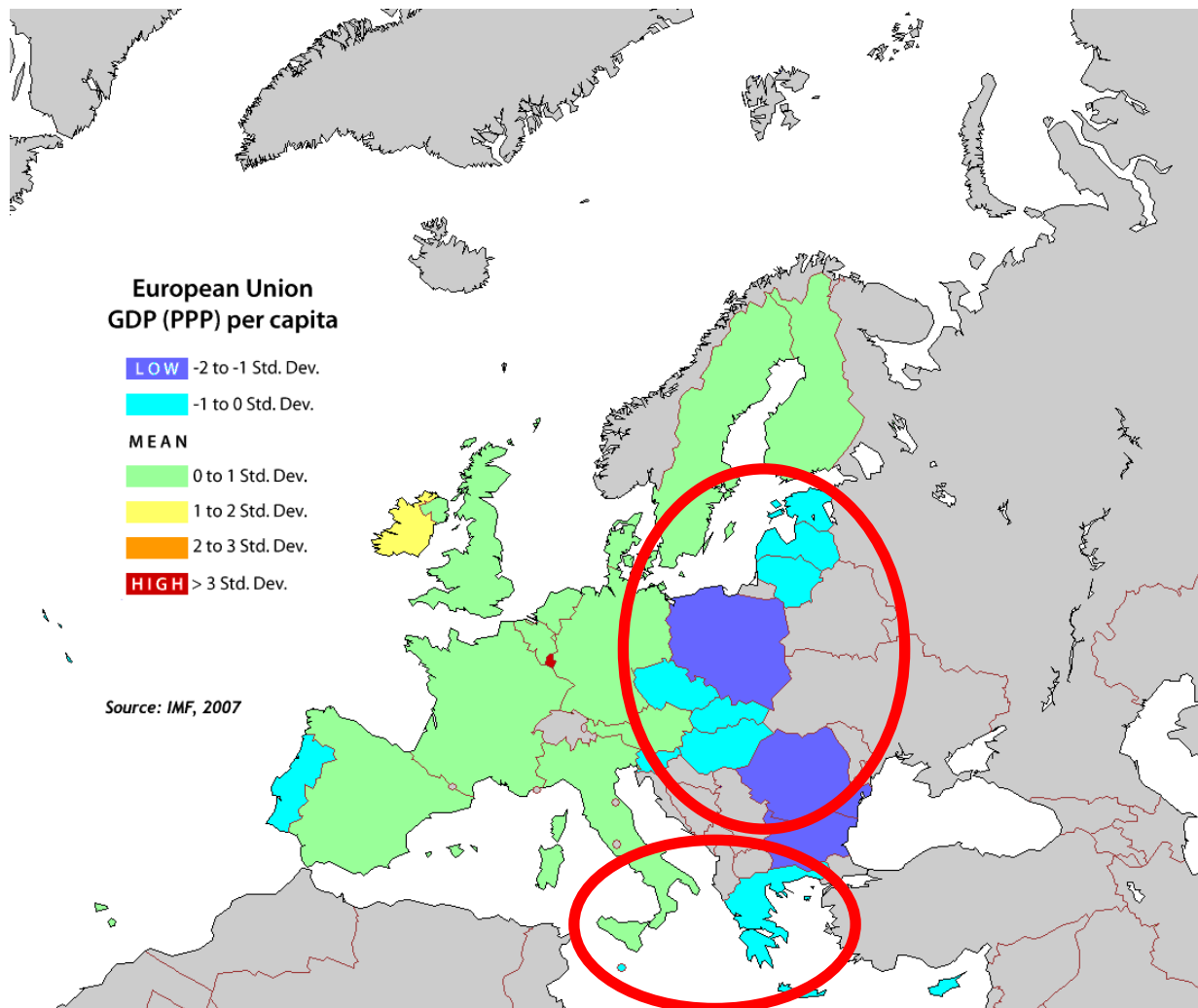
①EU加盟国で日本より面積の大きい国は  
…【 **スペイン** と **スウェーデン** 】のみである。

②EU加盟国で日本より人口の多い国は ない。

・EU加盟国の人口上位国は ドイツ (8302万人),  
イギリス(6665万人), イタリア(6036万人),  
フランス(6699万人)

## (5) EU内部の経済格差

- ・西ヨーロッパ地域に対して、東ヨーロッパ ・ 南ヨーロッパの所得水準が低い



## 5 EU諸国の農業

### (1)ヨーロッパ農業のうつりかわり

#### ①中世以来、穀物生産中心の農業

■北西ヨーロッパ・・・三圃式農業

■地中海沿岸・・・・二圃式農業



②19世紀後半～**新大陸から安価な小麦**の流入、都市化の進行による穀物以外の農産物に対する需要増大。

→ 穀物生産中心の農業が**分化**

- 混合農業 ……牛肉・豚肉を生産
- 酪農 ……酪製品を生産
- 園芸農業 ……新鮮な野菜や花きを生産
- 地中海式農業 ……果物を生産

## (2)おもな農業地域の概要

A 遊牧 ……|トナカイ|の遊牧

B 非農業地域……林業の地域

C 酪農 ……デンマーク オランダ イギリスなど

D 混合農業 フランス ドイツなど

E 地中海式農業 イタリア スペインなど

F 企業的穀物農業 ウクライナ  
(チェルノゼムの分布地域)

(3) 主な作物の北限

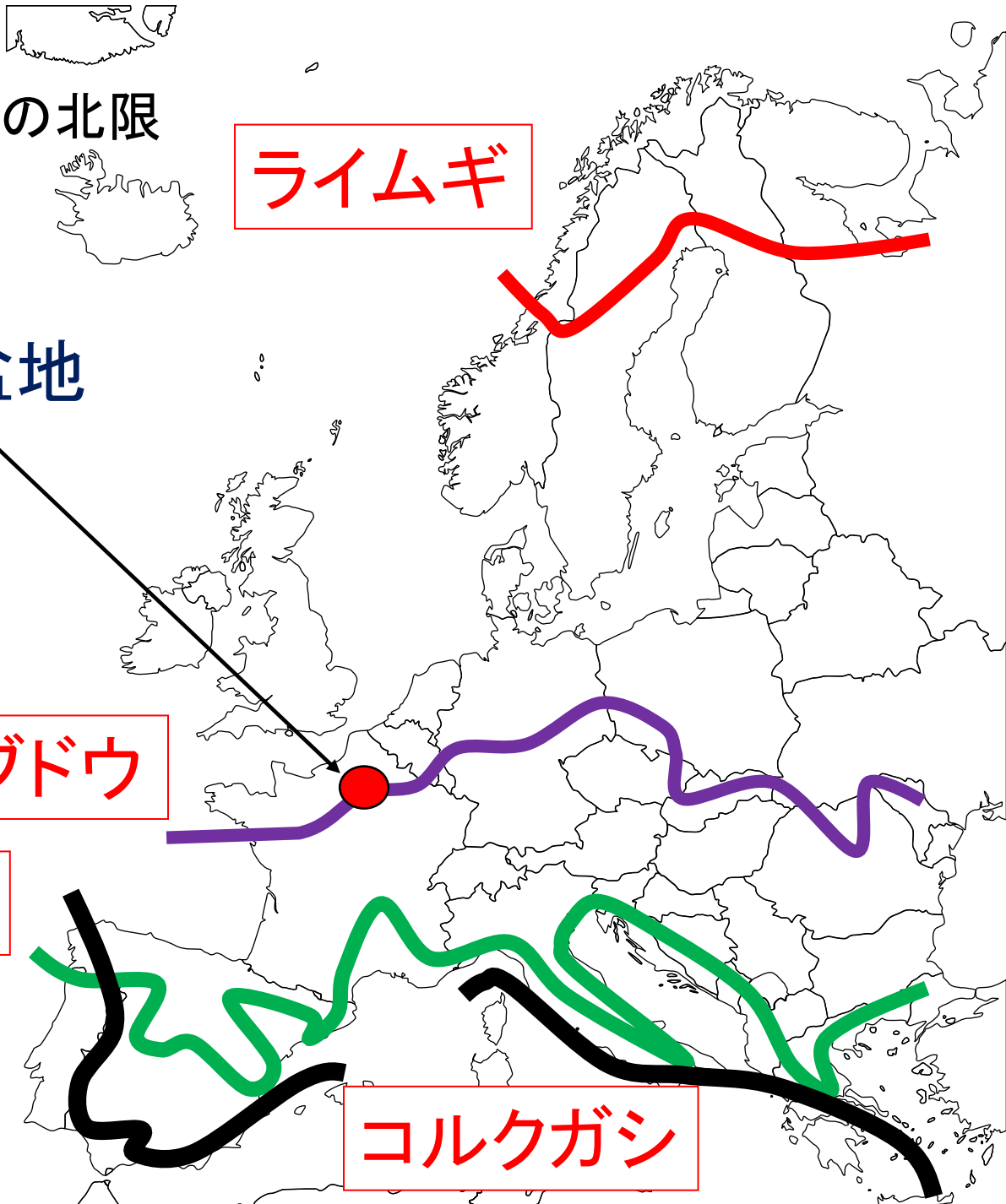
ライムギ

パリ盆地

ブドウ

オリーブ

コルクガシ





# (4)ヨーロッパの農業の生産性の高さ

➡ 【 労働 】生産性、【 土地 】生産性ともに高い。

▼農業の生産性の地域比較



大規模



小規模

合理性

肥料投入あまりしない



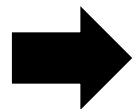
大量の肥料投入

(5)主要作物の生産量(2009)や輸出量(2008)(単位%)

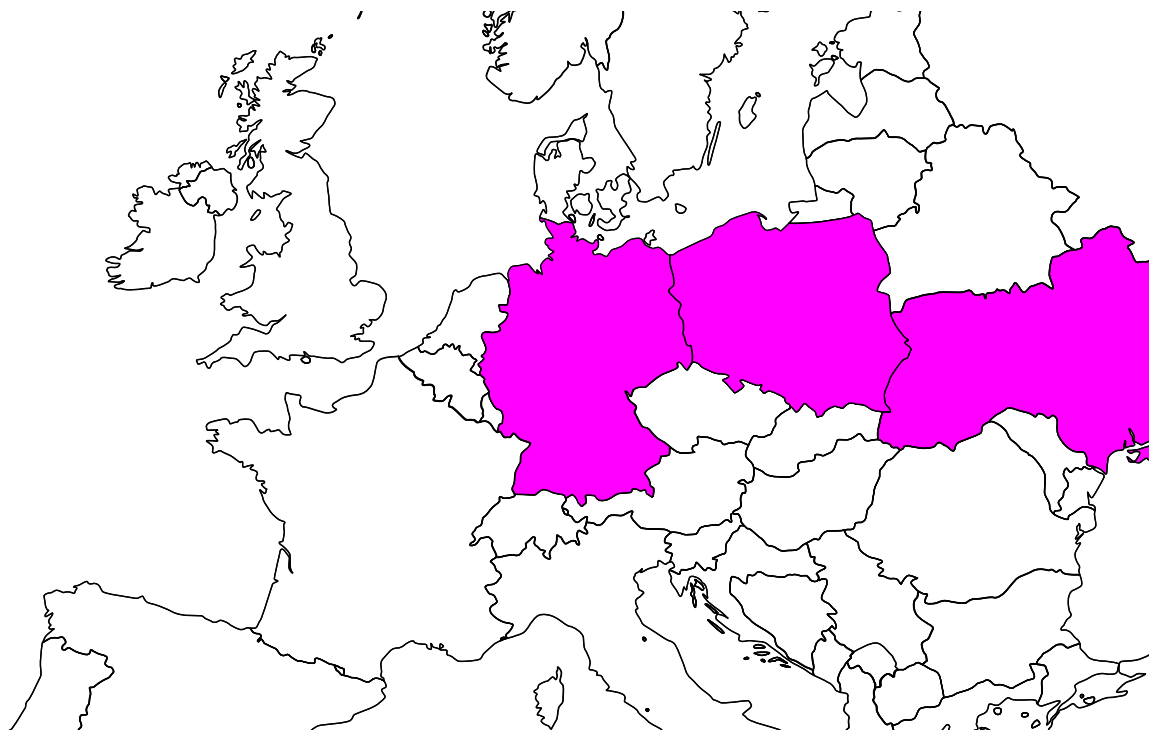


①小麦・・・ヨーロッパ(ロシアを除く)においては、【フランス】  
・ドイツ・イギリスの順で生産が多い。

②ライ麦・ジャガイモの上位生産国



(ライ麦・ジャガイモ)ともに生産の多い国が一致



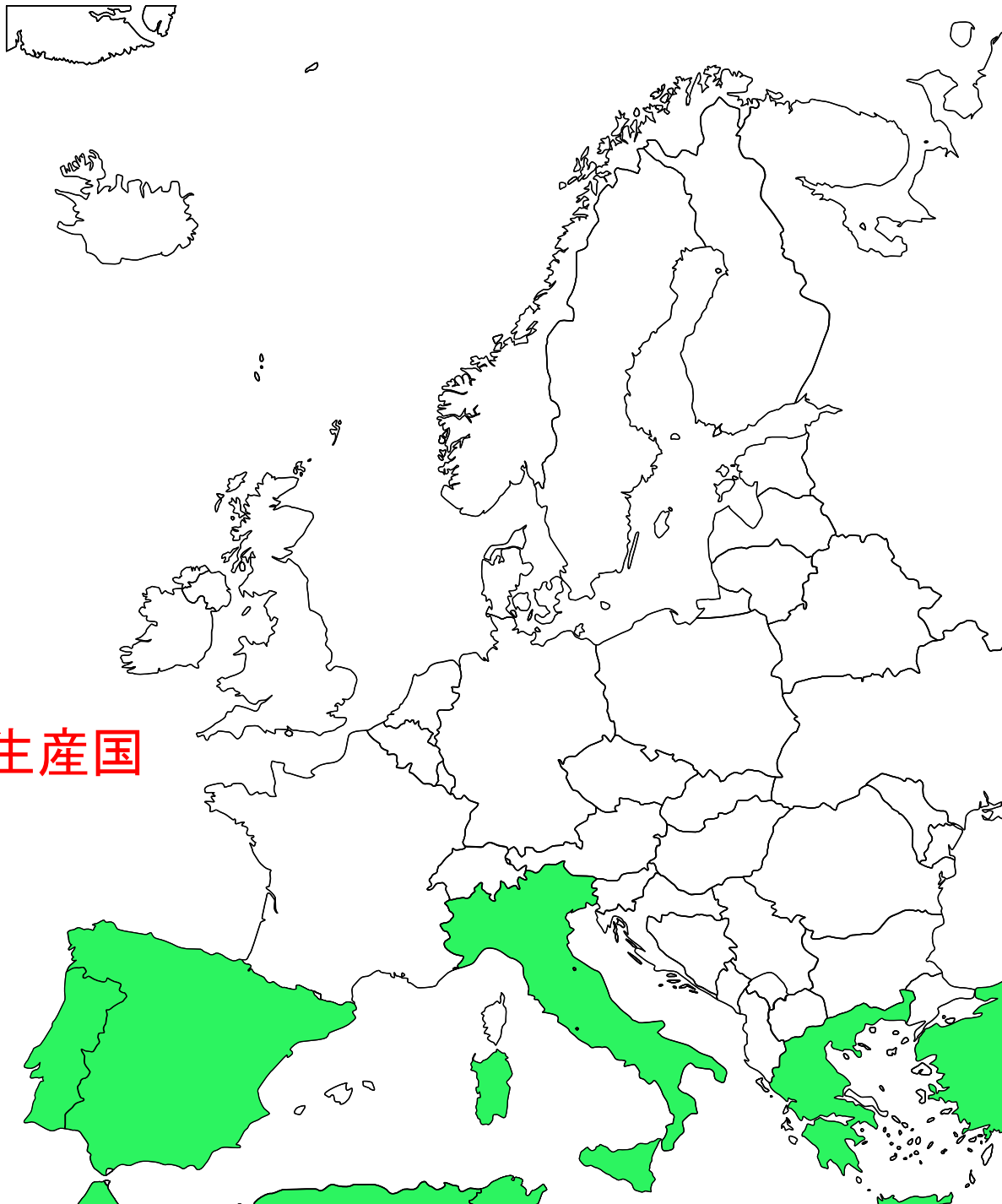
### ③ブドウ・ワイン・オリーブの生産上位国

(ぶどう・ワイン)太字国には【 Cs 】気候が分布する

(オリーブ)生産上位国はすべてが地中海沿岸諸国である。  
(世界の約95%)

	ブドウの生産	ワインの生産	オリーブの生産
1	イタリア	イタリア	スペイン
2	中国	フランス	イタリア
3	アメリカ	スペイン	ギリシャ
4	フランス	アメリカ	トルコ
5	スペイン	中国	シリア
6	トルコ	アルゼンチン	モロッコ
7	チリ	オーストラリア	チュニジア
8	アルゼンチン	南ア共和国	エジプト
9	インド	チリ	アルジェリア
10	イラン	ドイツ	ポルトガル
	計 6756 万トン	計 2722 万トン	計 19303 万トン

オリーブの生産国



## (6)ヨーロッパ主要国の農業の特徴

### ①統計指標による各国別の特徴

- イギリス・・・国土の約半分が 牧草地 であること。農業人口率が1%台で低いこと。野菜の自給率が低いこと。
- フランス・・・小麦 の自給率が一番高いこと。
- ドイツ・・・イモ類の自給率が高く、野菜の自給率が低いこと。
- デンマーク・・・国土の約半分が 耕地 であること。肉類の自給率が非常に高いこと。
- オランダ・・・小麦の自給率が低く、野菜類の自給率が非常に高く、肉類も高いこと。
- スイス・・・穀物の自給率と野菜の自給率ともに低いこと。
- 地中海沿岸のイタリア・スペイン・ポルトガル  
・・・農業人口率が高く、野菜の自給率が高い。

## ②フランス(西ヨーロッパ最大の農業国)

+肉牛

■混合農業・・・パリ盆地周辺で大規模な【小麦】栽培

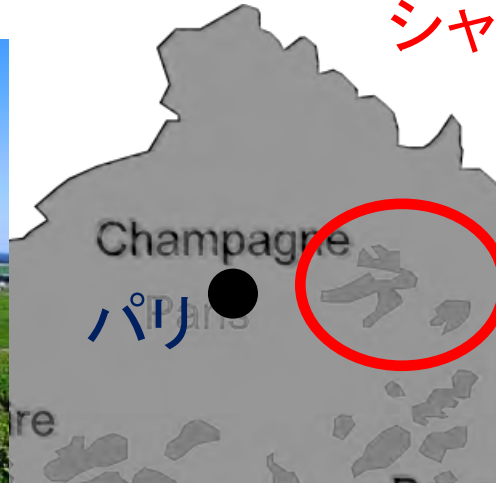


■南部では地中海式農業

・・・シャンパーニュ地方やメドック地方(アキテーヌ盆地)(中心ボルドー)での【ワイン】生産

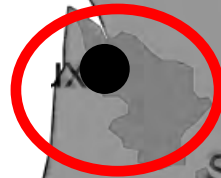


## シャンパーニュ地方



## メドック地方

ボルドー



### ③ドイツ

#### ■混合農業

小麦(南部中心)、【ライ】麦(北部中心、黒パンの原料)、  
【ジャガイモ】(南米アンデス原産)の栽培などと、  
【豚】の飼育を組み合わせている



■ライン川流域の河谷……ぶどうの栽培、ワインの生産が盛ん。



# ヒース (Heath)



## ④イタリア

### ■混合農業

- ・ポー川流域のパダノヴェネタ平原（気候はCfa）。生産性が高い。
- ・灌漑により【**稲**】作も盛ん。



- ・アペニン山脈の広がる中・南部で、生産性が低い。
- ・南部ではいまだ大土地所有制が残る。南北の地域格差が大きい。



## ⑤デンマーク

### ■酪農

- ・ドイツと同様、氷食でやせた土地の改良に励んできた。
- ・家族労働中心。規模は、10～20<sup>ヘクタール</sup>。10～20頭の乳牛と豚を飼育する合理的な多角経営。農業協同組合組織の導入。学校教育における農業教育の発達。



## ⑥オランダ

### ■酪農

- ・国土の約4分の1が干拓地の【**ポルダー**】でさかん（土壌が作物栽培に適さない）。
- ・**牛乳（過剰生産）・世界有数のチーズ輸出国。**



## ■ 園芸農業

- ・ 海岸の砂丘地帯でさかん。野菜の露地栽培やチューリップ  
プなどの球根栽培がさかん。



## ⑦スイス

### ■酪農

- ・【 **移牧** 】…家畜を季節的に気候条件の異なる地域に移動させて飼育する牧畜形態のこと。

→山腹の牧場(アルプorアルム)



## (7) EUの共通農業政策とその課題

### ① 共通農業政策(CAP)……EU域内農業の保護が目的

Common Agricultural Policy

#### ■ 域内統一価格の設定

生産性の低い(高コスト)国を基準に設定


#### ■ 輸入課徴金

域外からの安い輸入品には課徴金

#### ■ 農業指導保証金

域外輸出に対しては補助金

#### ■ 域内での買い付け義務

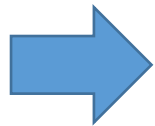
 【 **アメリカ** 】やオーストラリアなど農産物輸出国は非難



## ②課題

■【 過剰 】生産（「バター」の山と「ワイン」の池）  
（フランス・オランダなど）

■EU予算の圧迫（EU予算の約半分が農業関連）



2003年より統一価格を大幅に下げ、補助金を農家経営・設備投資、農村の基盤整備、環境・景観整備に多くあてるように改善

## 6 EU諸国の工業

### (1) 工業の歴史

#### ① 伝統的な工業国

■ 鉄鋼業 → 資源(石炭・鉄鉱石)豊富な  
スウェーデン・ドイツ・イギリス

■ 伝統工業 → 皮革・繊維工業(イタリア・フランス)、  
【時計】産業(スイス)



## ②第2次世界大戦後の工業化

### ■「重工業三角地帯」

2010年

北フランス炭田・【ルール】炭田・【ロレーヌ】鉄山(完全閉山)  
の資源を利用した原料産地立地型の重工業地域が形成  
(ルール工業地域)



## ■ 1960年代以降の都市の拡大～

大消費地近郊の工業地域（ミュンヘン・ロンドン・パリなど）

## ■（とくに）1973年のエネルギー革命以降～

臨海部の工業地域（マルセイユ（近郊の**フォス**）・  
【**ユーロポート**】（ロッテルダム近郊））



世界最大の石油化学工業地帯  
でもあり、石油メジャー各社のコ  
ンビナートが林立している。



## (2) EU工業の変化

### ①先端技術産業の遅れ(東アジアやアメリカが強い)



ヨーロッパの優位性後退

### ②EU域内の協力や得意分野への特化による工業化

#### ■航空機産業(エアバス社)

(イギリス・フランス(本社【**ツールーズ**】)・ドイツ)



## ■通信機産業(ノキア社)(本社【フィンランド】)

かつての世界の携帯電話シェアは第1位、現在2位

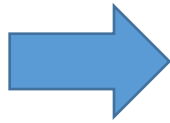


③EU拡大後の、スペインや東ヨーロッパ地域の工業化  
(まずは、スペインへそして東ヨーロッパへ)

■1980年代以後・・・スペイン(カタロニア地方(中心【バルセロナ】))



■ 21世紀以降・・・東欧諸国のEU加盟による工場の移動で  
産業の 空洞化 .



西ヨーロッパ企業の工場移転(低賃金が背景)



シャープ・ポーランド工場



### (3) 各国の工業

ヨーロッパ最大の重化学工業国。ルール炭田を背景に発展してきた。工業原料は海外依存度が強い。旧西ドイツ・東ドイツ地域の格差が大きい。

#### ①ドイツ

■ヨーロッパ最大の工業地域。

【ルール】地域

【ルール】炭田と【ライン】川の水運を結びつけて鉄鋼業が発展。

■近年は炭田の枯渇や工場の臨海部の移動により先端技術産業が進出。

■中心都市 エッセン(鉄鋼)、デュースブルク(河港)、ゾーリンゲン(刃物)など

自動車工業都市

ヴォルフスブルク、シュツットガルト、ミュンヘン

臨海立地型工業

ブレーメン、デュースブルク

自動車、造船、金属加工、電子技術、食料品加工業の重要拠点

臨海型工業地域



ブレーメン

ヴォルフスブルグ

エッセン

自動車工業

ルール工業地域

## ②フランス

第二次大戦後、石炭・電力・航空機・自動車など重要産業を国有化している。繊維・衣服・化粧品・香水・ワインなどの軽工業にも特色がある。

北フランス ロレーヌ地域	かつては、炭田、鉄山を背景に鉄鋼業が発展。 中心都市 <u>メス、ナンシー</u> (鉄鋼)、リール (羊毛)
臨海立地型工業	北部 <u>ダンケルク</u> 南部 <u>フォス</u>
航空機産業	<u>トゥールーズ</u> (エアバス社)
総合工業	化粧品・衣服・印刷などを中心にフランス最大の 工業地域 <u>パリ</u>

臨海型工業地域

ダンケルク

総合工業

メス

ナンシー

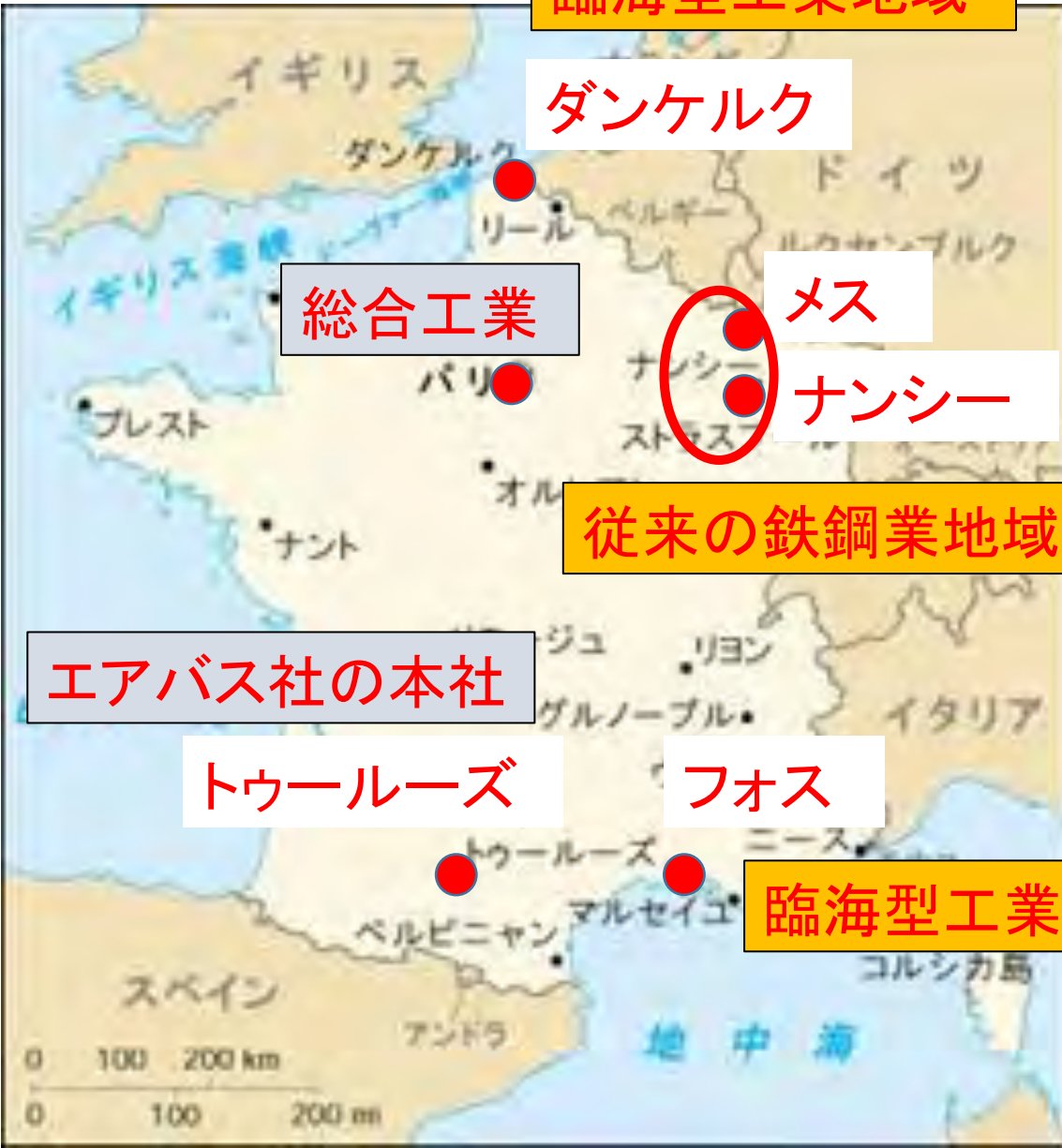
従来の鉄鋼業地域

エアバス社の本社

トゥールーズ

フォス

臨海型工業地域



### ③スイス

高い技術と品質の優れた付加価値の高い製品(時計や薬品)に特色がある。

時計産業  
化学工業

ジュラ山脈東麓のヌーシャテルが中心  
バーゼル



## ④イギリス

■ 18世紀後半、世界に先駆けての【産業】革命により近代工業成立  
(背景)石炭・鉄鉱石が豊富に存在した。

■ 第二次世界大戦後、石炭・鉄鋼・電力などの工業を国有化

ランカシャー地方 炭田・水資源・水運に恵まれ、【綿】工業を  
中心に発展。【産業】革命発祥の地。  
中心都市 マンチェスター、リヴァプール(輸入港)

ヨークシャー地方 【羊毛】工業中心に発展。

中心都市 リーズ、シェフィールド(刃物)

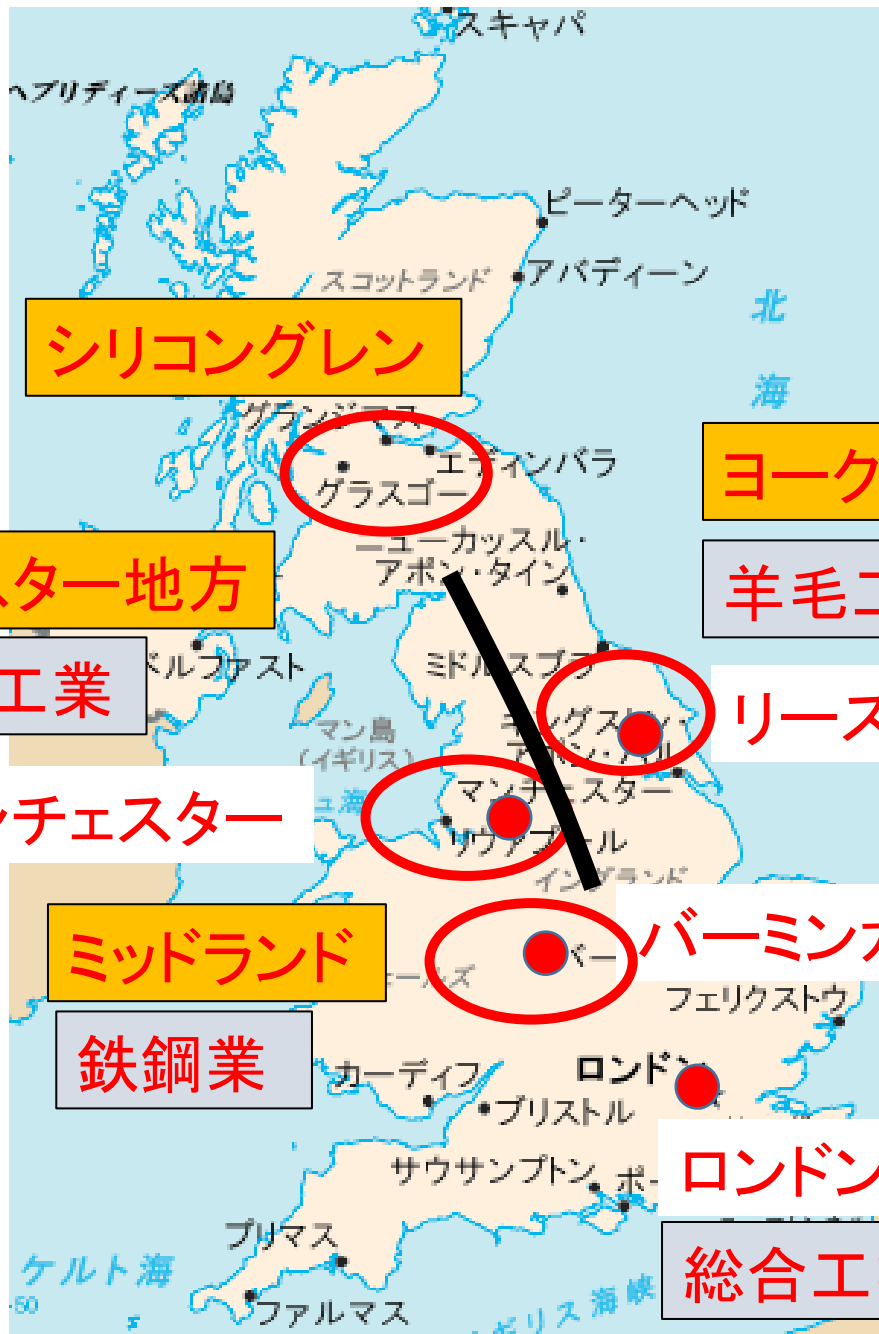
ミッドランド地方 はやくから鉄鋼業が発展し、黒煙が天をおおい  
「ブラックカントリー(黒郷)」とよばれた。

中心都市 バーミンガム(鉄山炭田立地)

臨海立地型工業 ミドルスブラ(化学)、カーディフ(鉄鋼)

先端産業 シリコングレン(スコットランド地方)

ロンドン 消費地指向型の総合工業都市



シリコングレン

ヨークシャー地方

ランカスター地方

羊毛工業

綿工業

リーズ

マンチェスター

ミッドランド

バーミンガム

鉄鋼業

ロンドン

総合工業

## ⑤イタリア

北部を中心に発達するが、【**南北**】格差が著しい。  
資源に恵まれず、第二次大戦後、国家が主要産業に資本参加。

北部 ミラノ(衣服)・トリノ(自動車)・ジェノヴァを結ぶ  
工業【**三角**】地帯が中心。

南部 政府は南部に資本を投下し格差是正に努めている(【**バノーニ**】計画)。工業都市 タラント(臨海立地の製鉄所)

**第3のイタリア** 品質やデザインを重視する高級衣料や皮革製品に特化した服飾・皮革産業地域。高度な技術力と専門化した中小企業が水平的分業を行う。



工業三角地帯



第三のイタリア

ミラノ

トリノ

ベネチア

ジェノバ

フィレンツェ

タラント

臨海型工業都市

## ⑥ ベネルクス3国

ベルギーでは、中世よりフランドル地方を中心に毛織物工業が発達。

オランダ

ユーロポート: ヨーロッパ最大の貿易港。  
ロッテルダム近郊



## ⑦スカディナヴィア諸国

タイガ・水力発電・鉄鉱石に恵まれて工業を発達させてきた。

スウェーデン 鉄鋼業（**キルナ鉄山**の鉄鉱石。輸送：夏は**ルレオ**から、冬は**不凍港のナルヴィク**から。）  
木材・パルプ鉄鋼業もさかん。

ノルウェー 豊富な水力発電を使用した【**アルミニウム**】工業  
北海油田があり石油の輸出国

フィンランド 情報通信産業（**ノキア社**）  
人口分布の希薄性が配線ない電話の需要を高めた。

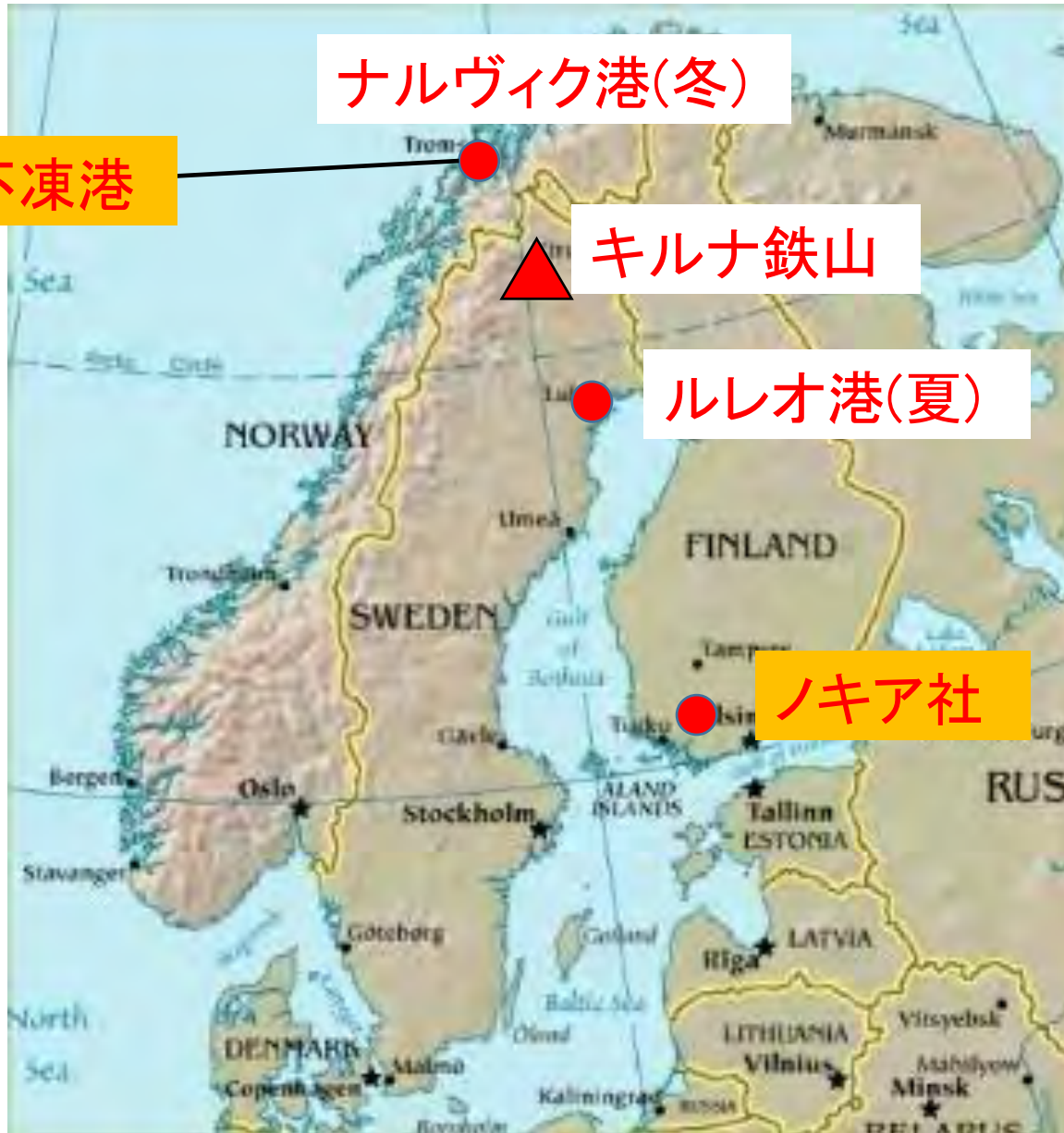
ナルヴィク港(冬)

不凍港

キルナ鉄山

ルレオ港(夏)

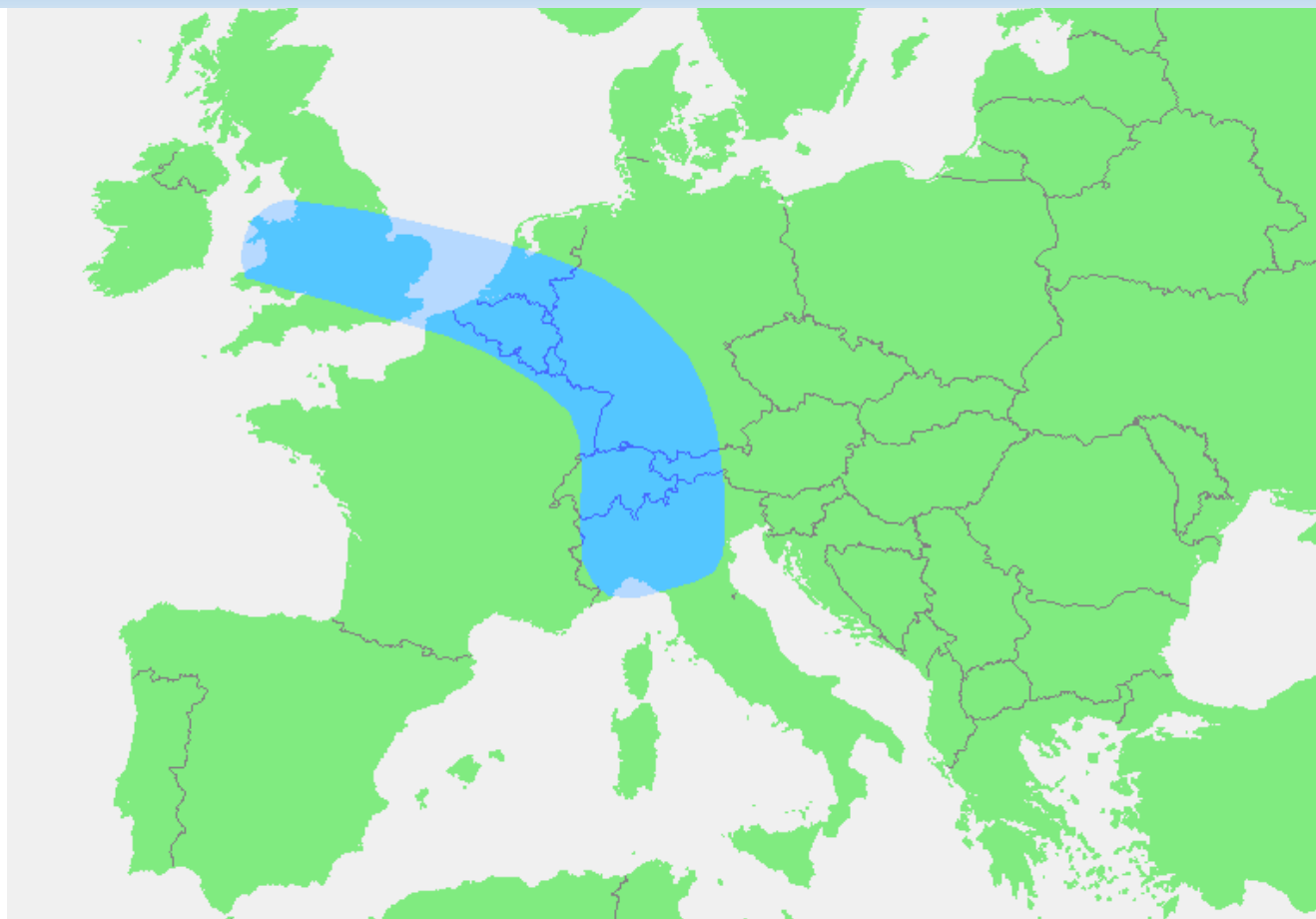
ノキア社



## (4) ヨーロッパの新たな発展軸

### ①【ブルーバナナ】(分布域の形とEUの色から命名)

イギリス中南部からライン川流域、イタリア北部にかけての西ヨーロッパの最も工業の盛んな地域



②イタリア北部から

フランス南部・スペインのカタロニア地方(バルセロナ)にかけての工業地域

自動車産業、食品産業、ロジスティック、エレクトロニクスやIT産業が局地的に発達